

とやま 保険医新聞

2010年 6/25 富山県保険医協会
第324号 富山市桜橋通り6-13、フコクビル11階
(076) 442-8000、FAX 442-3033
発行人 矢野博明 (年間購読料6,000円・一部500円)

主な記事

- ・入院患者の他院受診緊急アンケート結果(2面)
- ・在宅医グループ②「いみずネットワーク」(3面)
- ・ビスホスホネートと歯科(4面)
- ・歯科訪問診療料の算定について(5面)
- ・指導監査関連の開示情報(6面) 接遇セミナー(7面)

厚生労働省
東海北陸厚生局 富山事務所

これまでの経緯
四月診療報酬改定では、
①出来高病棟について入院
基本料の基本点数が三〇%
減額されるとともに、他医
療機関で算定できる範囲が
規制され、②包括病床入院
患者も含め他医療機関から
の投薬が原則としてできな
いことされました。
保険医協会・保団連では、
協会は六月三日、平井事
務局長ら三人が東海北陸厚
生局富山事務所を訪ね「入
院患者の他医療機関受診」
問題で要請・懇談を行いま
した。富山事務所側は、直
江所長、大西審査課長が対
応しました。

冒頭に「新たな算定ルー
ルを撤回し、従来通りの取
扱いに戻すこと」を求める
東海北陸厚生局長宛の要望
書を提出し、この問題で混
じ、富山事務所として東海
北陸厚生局に意見・質問を
上げていると述べました。
協会が提出した「要望書」
について、「ちょうど明
日、愛知(東海北陸厚生局)
に行くので局長に渡す」と
対応を約束しました。

東海北陸厚生局
局長 関山昌人 殿

入院患者の他医療機関受診における新たな算定ルールの撤回を求める要望書

4月の診療報酬改定で入院患者の他医療機関受診の取り扱いが大幅に変更され、これまで規定のなかつた一般病棟の入院患者について他の医療機関の外来を受診した場合の算定ルールが示されました。

(略)

この問題について、富山県保険医協会が行った緊急会員アンケートで医療現場における混乱が明らかになっています。事例として最も多かったのは「慢性疾患で内科医院に継続して通院中の患者が、骨折などで整形外科病院に入院したが、継続して服薬していた内科疾患薬がなくなったため、入院中の患者またはその家族が内科医院に外来受診し継続処方を求める」というケースです。

(略)

新たな算定ルールはすでに4月から実施されていますが、仕組みが複雑で入院・外来医療機関と患者の三者が理解しないと実行できないこと、厚労省の告示・通知の遅れに等に伴う周知不足、実施から1ヵ月も経ってから示した疑義解釈で取り扱いを一変させたことなどで医療現場の混乱は拡大する一方です。

(略)

医療現場における混乱を回避するとともに、患者に適切な医療を提供しやすくし、実態に合わせを取り扱うために、下記の事項を早急に実現されるよう、緊急会員アンケートの結果を添えて強く要望いたします。

一、入院患者の他医療機関受診における新たな算定ルールを直ちに撤回し、必要な医療については提供した医療機関で請求できるようにしてください

以上

疑義解釈【他医療機関の受診】

平成22年6月4日

(問) 出来高入院料を算定する病床に入院中の患者について、入院医療機関において行うことができない専門的な診療が必要となり、他医療機関を受診した際に、投薬を行った場合には、その費用はどのように取り扱うのか。

(答) 他医療機関において、専門的な診療に特有な薬剤を用いた投薬に係る費用(調剤料、薬剤料、処方料または処方せん料等)を算定できる。また、薬局において調剤した場合には、当該薬局において調剤に係る費用を算定できる。

入院患者の他医療機関受診問題で 厚労省が通知を改定

一般病棟入院患者の 外来での投薬が可能に

会員署名や実態調査を行い
撤回を求める運動に取り組
み、六月一日の参議院厚生
労働委員会では長妻昭厚生
労働大臣が「問題がある。
早急に対応したい」と答弁
しました。

今日は厚労省の対応とし
ては異例の早さといえます
が、療養病棟やその他の包
括病床入院患者には適用さ
れないという問題は残つて
います。また他医療機関で
が減額措置の問題を取り上
げ、鈴木委員は「課長通知
ができるのだから、せめて
緊急に薬だけでも算定でき
るようにしてほしい」と主
張しました。これを受けた
いきます。

協会は、会員医療機関からの問い合わせの急
増を受けて、五月中旬に「入院患者の他医療機
関受診に関するアンケート」を実施しました。
(アンケート結果の詳細は二面に掲載)

●このような制度では、合
併症をもつた患者は単科の
病院・有床診療所には入院
できなくなるように思いま
す。もっと単純な方法を考
えるべきです。(内科)

●入院基本料30%減算につ
いて、自院では専門的治療
が行えないため外来受診し
てもらうのに減算されるの
はおかしい。入院患者への
医療の質も変わっていくの
ではないでしょうか。

政治に期待
と不安は付き
ものである。
九〇年代後
半、ある政治
評論家が「こ
れからの二大
政党時代は、一つは面倒
見はよくないが税金は安
い冷酷軽税党。もう一つ
はその反対の親切重税党。
国民はそのどちらかを選
ばなければならぬ。前
者の代表が小沢一郎で後
者は菅直人だらうと思つ
ている」と書いている。

それから十数年の月日
が流れた。二人は同じ民
主党にあつて国民の大き
な期待を受け、日本の舵
取りを任せられる政治家と
なつた。まずは小沢が鳩
山の旗を揚げて出航した。
しかし散々迷走した揚句
失速、鳩山首相はあつけ
なく辞任を表明、小沢は
閣に紛れた。次は菅の番
となる。果して国民の期
待は不安を超えるだろう
か。

私事だが、砂漠やヒマ
ラヤ・チベット地域を旅
するとき、情報は限られ
外部とは遮られた空間と
なる。日本に比べれば本
当に何もない世界であり、
旅行計画は立ててあるも
のの現地での判断が優先
される。出発はいつも期
待よりも不安のほうが大
きく、計画の変更も度々
ある。しかしトラブルは
それはそれで楽しめ、今
まで期待を裏切られたこ
とはない。

さて私がこの感覚を政
治に求めてしまうのは、
あまりにも短絡過ぎるだ
ろうか?



政治に期待
と不安は付き
ものである。
九〇年代後
半、ある政治
評論家が「こ
れからの二大
政党時代は、一つは面倒
見はよくないが税金は安
い冷酷軽税党。もう一つ
はその反対の親切重税党。
国民はそのどちらかを選
ばなければならぬ。前
者の代表が小沢一郎で後
者は菅直人だらうと思つ
ている」と書いている。

6/3

協会、厚生局富山事務所に要請・懇談 「入院患者の他医療機関受診問題」で

協会の要請に対して富山
事務所側は、「こちらにも
医療機関や薬局から質問が
たくさんきてる」「これ
については『おかしい』と
思っている」との認識を示
し、富山事務所として東海
北陸厚生局に意見・質問を
上げていると述べました。

協会が提出した「要望書」
について、「ちょうど明
日、愛知(東海北陸厚生局)
に行くので局長に渡す」と
対応を約束しました。

単科病院や有床診
院できなくなる

「からも不躾に指示され、
こちらはルールに従つただ
けなのに両者に信用を失
ました。厚生局の対応に一
層の不信感をいだいていま
す。(耳鼻咽喉科)